

企 画 部 地 域 政 策 課

1 中心市街地活性化関係

(1) 中心市街地活性化基本計画関係

ア 中心市街地活性化基本計画の推進

「米子市中心市街地活性化基本計画」の推進について、下表のとおり会議を開催し検討を行った。

会 議 の 名 称	開催回数 (回)
米子市中心市街地活性化推進本部会議	1
米子市中心市街地活性化基本計画推進委員会	4

イ 米子市中心市街地活性化基本計画の変更

検討中の事業の計画がまとまったことによる事業の追加及び国の支援制度の変更に伴う記載内容の変更等が生じたため、基本計画の変更を行い、国へ申請を行った。

(ア) 第4回変更の申請 平成23年7月7日付け認定

(イ) 第5回変更の申請 平成24年3月29日付け認定

ウ 都市再生整備計画の変更

検討中の事業の計画がまとまったことによる事業の追加等が生じたため、都市再生整備計画を変更し、国へ提出した。

(ア) 第2回変更の届出 平成23年7月7日付け提出

(イ) 第3回変更の届出 平成24年3月29日付け提出

(2) 中心市街地活性化協議会への職員派遣

ア 中心市街地活性化協議会への職員派遣

平成19年12月21日に設立された中心市街地活性化協議会事務局に、引き続き市職員1名を派遣し、官民一体となって計画推進を図れる体制とした。

イ 中心市街地活性化協議会負担金

中心市街地活性化協議会の活動を支持するため、事務局経費の一部を負担した。

中心市街地活性化協議会事務局運営費負担金 2,739,732円

(3) 中心市街地活性化事業の推進

ア 中心市街地総合情報発信事業

中心市街地に関する様々な情報を広くインターネット等を通じて発信し、来街の動機付け及び生活利便性の向上を図ることにより、まちなかの活性化を推進した。

よなご・かえる通信ホームページの開設、かえる通信の発行(1回)

イ まちなかすまいるデータバンク事業

まちなか居住の推進を目的に、中心市街地の中古住宅等の調査・収集業務、調査した物件情報のデータベース化並びに空き家情報の発信を行った。

ウ 中心市街地等 FM 情報発信事業

行政情報、防災情報、中心市街地情報などの情報発信を地域密着性の高いコミュニティ FM により行った。

エ まちの案内看板設置事業

市民や来訪者に、まちをわかり易く案内するとともに、まちの文化や歴史に触れ易い環境の整備を行い、中心市街地を訪れた人たちがスムーズに安心して移動できるようにするために、案内板を設置した。

業務名	概要	金額（円）
まちの案内看板実施設計業務委託	実施設計	492,450
まちの案内看板表示デザインデータ作成業務	イラストレータ形式によるデータ作成	294,000
まちの案内看板設置工事	案内板 3箇所	3,727,500

2 基地対策関係

(1) 美保基地周辺環境整備の調整及び促進を行った。

特定防衛施設周辺整備調整交付金事業 2件

(2) 美保基地における次期輸送機 C-2 への機種変更について

地元説明会を開催し意見の集約をした。

説明回数 6回

(3) 米子飛行場周辺地域振興協議会の開催

総会 平成23年10月14日

3 米子空港滑走路延長（2,500メートル化）関係

米子空港滑走路延長事業に関する地元との調整は10月14日の地元協議会において、取組み状況と地域振興計画の進捗状況等について、説明と報告を行いました承された。

4 地方バス路線関係

(1) 生活バス路線を維持するため、生活路線維持費補助金の支出を行った。

日ノ丸自動車株式会社

区 分			路線数	補助額（単位；円）	
生活路線 維持費補助金	運行費 補助金	国県補助対策路線	広域幹線路線	6	28,725,523
			広域路線	6	20,676,790
		単市補助対象路線（市内完結路線）		9	21,183,241
合 計			21	70,585,554	

日本交通株式会社

区 分			路線数	補助額（単位；円）	
生活路線 維持費補助金	運行費 補助金	国県補助対策路線	広域幹線路線	2	3,126,284
			広域路線	4	14,313,402
		単市補助対象路線（市内完結路線）		6	15,773,911
合 計			12	33,213,597	

(2) 米子市循環バス（愛称「だんだんバス」）運行

路線バス活性化策の一助として、米子駅を発着し、大学病院など市内中心部を循環するコミュニティバスの運行を行った。

ル ー ト 市内中心部（米子駅→大学病院→ホープタウン前→天満屋前→ふれあいの里→高島屋前→米子駅）での一方向周りの循環運行

運行回数	平日25便、土・日、祝日23便（始発8時～終発18時：25分間隔）
使用車両	市所有のノンステップバス（34人乗り）2台
停留所	32箇所（市が設置）
料金	中学生以上1人1回150円、小学生100円、障がい者等50円、幼児無料
回数券	150円券11枚綴り 1500円 100円券11枚綴り 1000円 50円券11枚綴り 500円
運行方法	市とバス事業者が協定を結び、運行するバス事業者に対し、運賃経費から運行収入を控除した、いわゆる赤字額（23年度；12,187,692円）を市が補填した。
利用者数	総乗車人員131,192人 一日平均360.4人、一便平均14.8人（幼児を含む）

(3) 米子市淀江町巡回バス（愛称 「どんぐりコロコロ」）運行

路線バスの廃止代替として、淀江駅または米子東病院を発着し、米子市淀江町全域を巡回するコミュニティバスの運行を行った。

ルート	便ごとにルートが異なり、淀江駅、白鳳高校、マリ医院、米子東病院、イオン日吉津店等を巡回（1便あたりの所要時間 15分～58分）
運行回数	平日・土曜10便、日、祝日運休（始発8時5分～終発15時54分）
使用車両	バス事業者所有のワンステップバス（35人乗り）1台
停留所	51箇所（市が設置）
料金	中学生以上1人1回150円、小学生100円、障がい者等50円、幼児無料
回数券	150円券11枚綴り 1500円 100円券11枚綴り 1000円 50円券11枚綴り 500円
運行方法	市がバス事業者に運行を委託し、運行経費から運賃収入を控除したいわゆる赤字額（23年度；8,709,090円）を委託料として支払った。
利用者数	総乗車人員11,297人、 一日平均37.9人、一便平均3.8人（幼児を含む）

(4) 米子市地域公共交通会議の開催

本市における生活交通に関連する事項について、道路運送法の規定に基づく米子市地域公共交通会議において検討した。

構成	学歴経験者2名、事業者の組織する団体1名、バス事業者2名、住民又は利用者の代表6名、運転手を組織する団体1名、中国運輸局1名、警察1名、市職員1名 計15名
開催日	第1回 平成23年7月28日 第2回 平成24年1月23日

5 鉄道関係

- (1) 山陰本線、福知山線の複線電化等について「山陰本線・福知山線複線電化促進期成同盟会」を通じて要望活動を行った。
- (2) JR利用に関わる諸問題について、JR西日本米子支社との調整を行った。
- (3) JR淀江駅前公衆便所の維持管理

6 航空路線関係

- (1) 空港利用者の利便性向上のため、鳥取県、境港市との共同で米子空港駐車場を運営し、駐車場無料化を継続するとともに、JR 境港米子空港駅待合所の維持管理を行った。
- (2) 米子鬼太郎空港愛称化1周年を記念し、9月18日に新オブジェの発表とともに愛称化を推進する各空港の関係者による記念イベントを開催した。
- (3) 米子ー東京線を運行する航空会社に対して、増便を含む利便性の向上・運賃の値下げ等について、「米子空港利用促進懇話会」を通じて要望を実施した。
- (4) 米子空港の利用促進活動について、「米子空港利用促進懇話会」を通じ、各種利用促進活動、PR活動を行った。

ア 平成23年7月28日～29日

11月に実施する「北海道チャーター」を相互チャーターとするために札幌地区へ山陰の観光PRを関係機関に対して実施した。

イ 平成23年10月15日

「空の日」の記念行事として行われる「米子空港まつり」を関係団体とともに開催した。

ウ 平成23年10月22日

首都圏への観光宣伝活動及び路線のPRとして東京で「山陰米子がいな まいもんフェア」を関係団体とともに開催した。

エ 国内相互チャーターとして11月に北海道、平成24年2月には沖縄チャーターを実施し、北海道チャーターでは、札幌から237人、米子から198人が、沖縄チャーターでは、沖縄から97人、米子から119人が利用した。更に国際チャーター便に対しても支援を行った。

7 通信関係

通信業務の円滑な事業推進を図るため、関係諸団体との調整を行った。

特に、平成23年7月24日にアナログテレビ放送が終了し、地上デジタル放送へ完全移行したが、市民への広報に努めるとともに、関係各課とアナログテレビ放送停波時における市民からの相談を受け付け、大きな混乱も無く地上デジタル放送に移行できた。

8 水源対策関係

- (1) 賀祥ダム建設工事に係る水道局企業会計の負担に対し、次のとおり費用負担を行った。

ア 水道事業出資金 60,030,928円

イ 水道事業補助金 10,423,471円

- (2) 新良路地区飲用水給水設備の修繕を行った。

- (3) 旧淀江町簡易水道事業に係る水道事業債償還金の一部について、次のとおり費用負担を行った。

ア 水道事業出資金 3,703,548円

イ 水道事業補助金 1,736,138円

9 高等教育機関連携事業

- (1) 高等教育機関の充実発展への支援

米子工業高等専門学校との発展と産学連携の強化を目的に、様々な事業を実施している米子工業高等専門学校

校振興協力会の活動に対し、引き続き協力を行った。

平成23年度振興協力会活動内容

ア 講演会・技術交流会（平成24年1月30日）

イ 産官学連携推進のための調査研究支援

ウ 共同研究支援

(2) 高等教育機関との連携の強化

環境省が取り組む「子どもの健康と環境に関する全国調査」（エコチル調査）のユニットセンターの一つとなる鳥取大学医学部に対する協力を行うとともに駐車場、教育用グラウンドについて協議を行った。

10 交通バリアフリー推進協議会関係

「米子市交通バリアフリー基本構想」（平成21年2月策定）で定めた各種事業の推進状況を評価、検討を目的とした「米子市交通バリアフリー推進協議会」を開催した。

開催日：平成24年2月16日

11 米子駅バリアフリー化の促進

米子駅のバリアフリー化に伴い、整備に係る経費の一部を負担した。

平成23年度米子市負担金 78,396,209円